

# 海風の街震災ガイド

いざという時これだけは知っておきたい ②地震発生時の行動編

## 海風の街では震度5以上の地震が発生した場合 災害対策本部が設置されます

### 自分たちの街を守るために

大地震などによる災害は、多発する火災をはじめ、道路や建物の倒壊、ライフラインの寸断など多種多様にわたり、消防や警察などの公的機関による救護活動もすぐに期待できないかもしれません。そんなとき、私たちの手で被害を最小限にとどめるように協力し合うことが不可欠となります。

また日中には多くの住民が不在という場合も想定されます。こうした場合でも居合わせた人たちが力を併せて対応することで地域の混乱は避けられます。

海風の街「自主防災組織」では、大災害が起きたとき、災害対策本部を立ち上げ、自分たちの街を自分たちの手で守るため取り組んでいます。

### 災害時要支援者をみんなで支援！

私たちの街にも、高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、児童、傷病者、外国人など災害時に大きなハンデを持った人たちが住んでいます。こうした人への対策は日頃から各棟で話し合い、情報を共有し、私たち一人ひとりがお互いに協力し合い、一丸となって積極的な支援を行えるように心がけましょう。

一人の要支援者に、複数の住民による救援体制を考へることや、目や耳の不自由な方への情報の伝達方法など、具体的な救援態勢を決めておきましょう。

### 震度5以上の揺れを感じたら9号棟に集合！

管理組合の理事、自治会役員を中心に災害対策本部を設置します。また管理組合棟別委員、自治会班長で各棟の安否確認、エレベーターの閉じ込め確認を行います。

そして集められた情報を基に、必要に応じて、救出救護班・消火班・情報班等をつくり被害を最小限に留めるように活動します。

### 災害時の活動

海風の街自主防災組織では、非常時の応急活動の目標として、主に以下のような活動を想定しています。

**情報班**：災害に関する情報の収集と、住民に対する正しい情報の伝達。

**消火班**：出火防止および初期消火活動。

**避難誘導班**：住民の避難誘導活動。

**救出救護班**：負傷者の救出、救護所への搬送、救護活動。

**給食・給水班**：水や食料などの配分、炊き出しなどの給食、給水活動。



# 地震発生時の時間経過別



地震発生



～3分



5分

最初の大きな揺れは  
約1分間

まず身を守る  
机の下などへ

非常脱出口の確保  
ドア、窓を開ける



揺れがおさまったら・・・

家族の安全を確認  
倒れた家具の下敷きになっていないか、ケガをしていないか確認

火元を確認  
火が出たら落ち着いて初期消火

靴をはく  
家の中はガラスの破片が散乱、靴や厚手のスリッパをはく

無事を知らせる  
玄関外扉に安否確認カード掲示

※海風の街では災害時の安否確認用に全戸にマグネット式の緊急時安否確認カードを配布しています。

まずみんなの無事を確認  
火災発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう  
災害時要支援者の安全確保

出火防止・初期消火  
近所で火が出ていたら大声で知らせる。落ち着いて初期消火。

理事・役員・棟別委員・班長は9号棟へ集合  
災害対策本部の立ち上げ

※9号棟集会所には災害対策本部を立ち上げるための備品や、棟別安否確認表、筆記用具等が常備されています。

また敷地内数ヶ所に設置されている防災倉庫には救出・救助・消火用具が備蓄されています。

# 行動マニュアル



10分



~3日

番外編  
エレベーター

海風の街全体の安否確認  
正しい情報を収集

棟別の安否確認

各戸のカードを確認・けが人は？  
エレベーターの閉じ込めは？

正しい情報の収集

防災無線（市より貸与）・ラジオ  
等で正しい情報の収集。  
デマには惑わされない

消火班・救出救護班・  
避難誘導班・情報班の結成

防災倉庫に入っているバールや  
ハンマー等の救出用具、可搬式  
消火ポンプ等の消火用具、タン  
カ等の救助用具を使い活動

協力して消火、救出、救護  
活動を！

助け合いの心が大切

水・食糧は各家庭での備蓄でま  
かなう（3日分の備蓄を！）

力を併せて救出救護を

重い家具の下敷きから：タンス  
の裏側はベニヤ張りの場合が多  
いのでそこを解体し引出しを抜  
いて軽くする

ガレキから：壁、柱、タイルな  
どの障害物を取り除くには、少  
しでも多くの人たちと力を合わ  
せて取り組む

エレベーターは避難時に  
利用しない！

安全が確認されるまで利用し  
ない

エレベーター利用中に地  
震に遭遇したら

揺れを感じたら全ての行き先  
階ボタンを押す

※海風の街のエレベーターは震災時自動で  
は止まりません！

閉じ込められたらインターホ  
ンで通報

※電話回線が不通でも1階にある機械で  
外の人と通話できます。

# 我が家の防災対策

## 家族みんなで防災会議

災害は突然襲ってきます。そして家族が一緒のときに起こるとは限りません。そんなときでもあわてずにすむように日頃からよく話し合ってください。

おくことが大切です。そうした話し合いの中で防災意識を高めていくことから、我が家の防災対策をスタートしていきましょう。

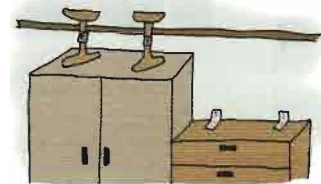
### 1. 家族一人ひとりの役割分担と隣近所との助け合い

日常の防災対策上の役割と災害時の役割の両方について決め、発生が日中・夜間両方の場合に備えて対策を考える。寝たきりの高齢者、病人、小さな子どもがいる場合の隣近所の助け合いなどについても話し合う。



### 2. 家具の安全な配置と転倒防止対策

家具の配置換えによって家の中に安全なスペースを作れないか工夫する。また、家具転倒や落下を防ぐ方法を考え実施する。

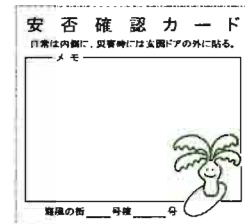


### 3. 非常持出品のチェックと入れ替え・補充

家族構成を考えながら必要な品が揃っているかをチェックする。定期的に新しいものと取り替える必要があるものに注意し、家族の3日分を備蓄する。

### 4. 災害時の連絡方法や避難場所の確認

家族が離ればなれになったときの連絡方法や集合場所を確認する。緊急時安否確認カードの余白の部分を使っての連絡方法も確認する。



忘れてイナイ災害伝言171と覚えてください

## NTT災害用伝言ダイヤル **171**

### 伝言の録音方法

**171** にダイヤルする

▼…ガイダンスが流れます

録音の場合 **1**

▼…ガイダンスが流れます

() -

↑ 被災地の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください ↑

### 伝言の再生方法

**171** にダイヤルする

▼…ガイダンスが流れます

再生の場合 **2**

▼…ガイダンスが流れます

() -

毎月1日(0時~24時)は「体験利用日」です。ぜひ、ご家族・親戚・友人間で体験して下さい。※ 通話料はかかります。